

広報 肱川

主な目次

- 昭和55年度の主な事業…………… 2～3ページ
- 故池田氏に“名誉町民賞”を授与… 4ページ
- 当町で健康道場を開設…………… 4ページ
- 鹿野川花まつり始まる…………… 5ページ
- 3月定例議会報告…………… 6～9ページ
- お知らせ…………… 10ページ



花まつりというのは、本来は、灌仏会（か
んぶつえ）と呼ぶ、釈迦の誕生日を祝う仏教
行事のひとつです。

ところが最近、観光行事としてのサクラの
花祭りが各地で盛んになってきて、混同され
ているむきもあるようです。

仏教の方の花まつりは、釈迦の誕生日であ
る四月八日に、サクラの花などで飾られた釈
迦像に参拝者がひしゃくで甘茶をかけるのが
多いようです。

甘茶は、アマチャという植物の葉を干して
作ったもので、参拝者はこれを飲むほか、習
字の墨をするのに水の代わりに使います。

こうすると習字が上達するといわれている
からです。

四月八日には、町内のお寺でも花祭りが
行われ、甘茶の接待がありました。

（写真 本願寺の花まつり）

昭和五十五年度当初予算

農業資料館の建設など

意欲的に事業を推進

昭和五十五年度の肱川町予算は、去る三月十二日に招集された第一三三回町議会定例会において提案され、そのあと協議会、常任委員会などにおいて五日間の審議を経て、同十八日に議決されました。(各会計毎の予算総額は表1のとおり)

国や県では、「財政再建」という厳しい状況の中で予算が組まれましたが、私たちの生活にか

わりの深い肱川町は、財政的にどんな状況なのか。またどのような方針で予算が編成され、どんな仕事が進められているのか、そのあらましをお知らせします。

近年の

財政的変化

国・地方を問わず、最近財政的には苦しい状況が続いています。これは、過去の経済の高度成長時代に、将来も経済成長は順調に続くであろうと考へ、財源の伸びも相当期待しており従って種々の事業を手がけて来ましたが、また借入金の返済についても甘いところがあったといえます。

近年は次第に低成長の様相を示し、国においても市町村に対し、国からの交付金などあまり増えないこと
 ② 税金など、あまり伸びを期待しないこと
 ① 庁費など物件費の節約を

すること
 ㊤ 大会や各種行事を縮小すること
 ㊦ 補助金などは、効果をよく見て補助すること
 ㊧ 団体への補助金など抑制すること
 ㊨ 投資的経費については、財源をよく考へて計画すること
 ㊩ 建物などは維持費についてよく考へて計画することと厳しく指導をするようになって来ました。

予算編成の

考え方

肱川町も他の市町村の例外ではありません。

同じように厳しい状況が予想されますので、国や県の指導事項を充分に考へながら、引き続き、国や県の補助政策はできるだけ取り入れる。

住民の方々に身近かな事業は推進する。そのため、有利な財源の確保

に努力する。・・・として、意欲的に取り組むこととしていきます。

主要施策と

事業費

昭和五十五年度の主要な施策として次の諸点を考へ、それぞれ振興をはかることとしています。

- 一 町民の生活基盤を拡充整備
 - 町道の新設、改良、舗装、交通通信網の整備のために(一億四、九〇〇万円)
 - 消防、防犯、交通安全のために(三、九五〇万円)
 - 地方改善事業のために(九四三〇万円)
- 二 地域産業振興のための経営基盤を拡充整備する。
 - 農林道の新設、改良、舗装のために(六、〇〇〇万円)
 - 地域の特性に合わせた新農構事業を進めるために(二億八、〇〇〇万円)
 - 商工観光の振興のために(七〇〇万円)
- 三 教育文化、スポーツの振興を図る。
 - 幼児教育施設を整備するた

表1

会計別予算額(当初)		()内は54年度
一般会計	11億9,000万円	(11億4,900万円)
国保特別会計	2億3,800万円	(1億9,100万円)
簡水特別会計	1億2,910万円	(1,600万円)
学校給食特別会計	3,700万円	(3,560万円)
車輛特別会計	890万円	(890万円)
住宅資金特別会計	560万円	(47万円)
計	16億0,860万円	(14億0,097万円)

表2 一般会計費目別割合

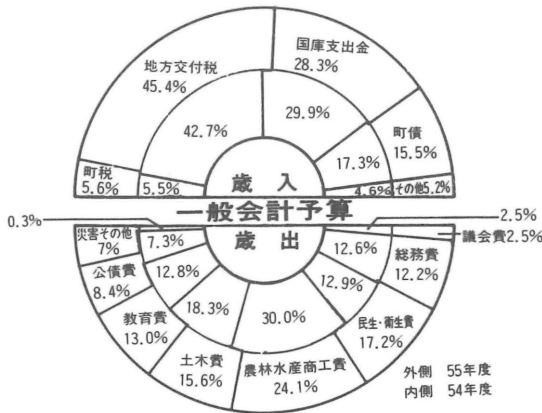


表3 主な事業と予算

部門	主な事業	予算額	部門	主な事業	予算額	
総務	広報広聴	114	農林水産	葬祭施設	500	
	公有財産購入	680		結婚相談他	30	
	緊急対策	500		産業振興対策	882	
	防犯	45		農業振興対策	451	
	交通安全	242		山林特別対策	150	
	地域振興	300		新農構事業	17,650	
	町民運動・相談	90		土地改良事業	5,100	
	放送施設	137		畜産業費	60	
	コミュニティ	476		林業振興費	910	
	民生	重度身障者医療費		115	商工	水産業費
国保会計繰出し		300	商工振興	135		
身障者援助		30	観光	557		
老人検診他		50	道路維持費	819		
老人医療		2,460	道路新設・改良	5,300		
ホームヘルパー		205	道路舗装	7,500		
国民年金		136	ブルドーザー補助	500		
地方改善事業費		9,430	コンクリート舗装	700		
高令者創作館費		75	教員住宅	490		
児童福祉		1,550	消防施設整備	300		
衛生	諸検診	2,060	教育	幼稚園整備	3,720	
	水道会計繰出し	1,580		55総体	180	
	薬剤費	181		災害		
	歯科診療所	210				4,500

めに(三、七五〇万円)
 ○学校教育と教員住宅の整備のために(四九〇万円)
 ○体育振興のために(二〇〇万円)
 四 大型事業の促進をはかる。
 ○過疎林道の推進のため(二〇〇万円)
 ○企業誘致のために(五〇〇万円)
 五 広報、広聴活動を更に充実するために(四五〇万円)
 (主な事業と予算額は表3のとおり)

表4 主な町単独事業

コンクリート舗装費	700万円
ブルドーザー事業補助	500万円
小規模基盤整備補助	400万円
森林総合整備補助	200万円
主要連絡道新設費	200万円
しいたげ振興事業	150万円
敷砂利費	150万円
きゅうり価格補償	140万円
緊急事業対処費	50万円
観光施設	50万円
55総体	180万円
身障者援助	30万円
水道事業への繰出し	1,580万円
国保事業への繰出し	300万円

事務的経費は極力節減

役場や公民館、学校などの施設で使用する諸経費は、物価の上昇に伴って年々増大していますが、電気、水道などの光熱水費や用紙類の節約、また出張経費など極力節減をはかることとしております。

(肱川町独自の町単独事業は表4のとおり)



集音マイク

○「できたぞ、いろいろりも鮮やかなテレビッ子の学園が、五四年度から保育所を幼稚園制度に改め、公立文教施設整備費国庫補助事業により、二つの園舎が誕生した。

(3/1) 大谷幼稚園落成式
 (3/2) 正山幼稚園落成式

○前進する肱川町、八〇年代にふさわしい基本方向と財政の確立をめざして、選良一六名の慎重な審議が続けられた。(3/2) 3月定例町議会)

○当町の目玉産業であるしいたけ、森林組合の年間集出荷量は約七万キロ、生産額は概算三億円、農林産物の王者である。更に躍進をめざして、地域林業振興緊急特別対策事業により椎茸作業用建物を建築、生産者の省力化と品質の向上をねらいとして選別機も設置された。(3/30 町民グラウンド)

(3/30) 落成式

○「ほたるの光窓の雪……」思いのまなびやより第二〇回卒業生(八六名)、晴れやかな旅立ち、(進学率〇九三%、就職率〇七%)素晴らしい若人よ、八〇年代にはばたけ。(3/17 肱川中学校卒業式)

○中野三〇、正山一九、大谷一四、予子林六、岩谷六、五つの小学校の卒業生は七五名、おめでと。四月からは一つのまなびやだね。すこやかな成長を祈る。(3/25 各小学校卒業式)

○忍びよる成人病の予防と、心に通う明るく町づくりのいしずえとなることを願って……四〇歳以上ソフトボール大会、各分館選手五チーム参加、熱戦の末、栄光は大谷チームへ。一週間くらは足腰が……。 (3/30 町民グラウンド)

職員の異動

四月一日付、()内は旧任
 税務課長 中野博司 (町民課長補佐)
 税務課長補佐 二宮賢一郎 (税務係長)
 税務課調査係長兼登記係長 曾根行雄 (調査係長)
 町民課主事 三瀬健一 (給食センター)

―新採―
 藤高茂治 農林課
 高田英治 税務課
 ―教委―
 岩谷幼稚園教諭 堀川千賀子 (大谷幼稚園)
 大谷幼稚園助教諭 富永定江 (岩谷幼稚園)
 ―退職― 三月三十一日付
 兵頭芳一、岩城万吉、宮田千鶴子、今宮和枝、泉 花子

肱川町で三人目

故池田氏に「名誉町民賞」

元町長池田萬千雄氏に対し、昭和五五年四月二日、「名誉町民賞」が授与されました。

これは、去る四月一日、池田氏が病気で死亡されたことに伴って、町議会臨時会が開かれ、満場一致でその授与が決定されたものです。

池田氏は、昭和七年河辺村収入役として就任以来昭和四四年に退職されるまで、助役及び町長として実に三十七年の長期に渡って、地方自治の進展のために貢献されました。

その間において、鹿野川ダムの建設、県立自然公園の指定、中学校の統合、農林業基盤整備のための農業構造改善事業、林業構造改善事業、山村振興事業



遺族へ町民賞を伝達

の同時指定、更に国道の昇格、保養センターの誘置の基礎づくりなど、数々の功績を挙げられました。

ここに謹んで町民の皆さんにお伝えいたしますとともに、衷心よりごめい福をお祈りいたします。

自分の体は自分で管理

当町で健康道場を開設

生命の貯蓄体操についてのお話と実技指導が、四月二日の夜公民館で行われました。

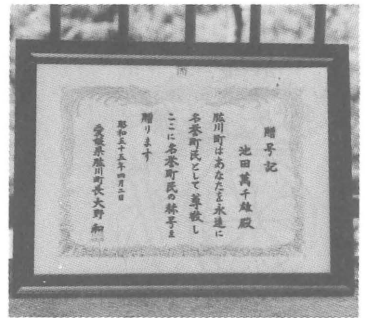
指導者は、生命の貯蓄体操普及会大洲支部長の大久保定光先生です。

大久保先生は、以前はお体が悪く、医療を受けておられましたが、最後は体操によって病気を克服したという貴重な体験をもっておられます。

今では、この体操を生かして、各地を駆けめぐり、住民の方々の健康づくりに貢献しておられます。

最近、運動不足や精神の緊張の連続等が原因と思われるような慢性の病気で苦しんでいる人が、非常に多くなっています。

このような病気になるないためには、日頃から健康に対する関心を持ち、自分の健康は自分



で管理して、悪いところがあれば自分で治してゆくという生活態度が一番大切なことです。

今でも、病気というものはすべてお医者さんが治してくれるものと、思いこんでおられる方が多いようですが、病気は、お医者さんが一割、薬が一割で、あとの八割は患者自身の自然治癒力で治るのだといわれています。

特に成人病の場合、お医者さんは痛みをさしずめたり、病気の悪化を防ぐ処置はしてくれませんが、体力や筋肉を強めることはやってくれません。

体力や全身の筋肉は、体操によって自分で鍛えるより他に手がないのです。

このような考え方から、近頃は健康に対する関心も高まり、各地で健康体操が盛んに行われるようになりました。

なかでも、生命の貯蓄体操は全国的に普及されており、成人病予防などにすばらしい効果が現われていることが発表されています。

この体操を続けることによって、体のあらゆる関節がやわらかくなり、動きやすく、また、弱った筋肉が強くなり、血液の循環もよくなるなど、体が若がえってきます。

大久保先生は、肱川町で四〇人位まとまれば、当町で健康道場を開きたいと言っておられます。

自分の健康づくりに関心のある方は、この生命の貯蓄体操にご参加ください。

申し込みは、役場町民課和田保健指導員までしてください。なお、入会にあたっては、年間四、〇〇〇円の会費が必要です。



体操の効用について話される大久保先生

一口医学

快い

眠りのために

春眠 暁を覚えず。
春は眠いことになっていきますが、眠りといえれば人生の三分の一は寝ているといわれます。

快眠は健康の大事な一要素です。

はたして質のよい睡眠がとれているでしょうか。

気になることがあると、体は疲れていても頭が眠りに入っていないかもしれません。

眠れないとなると、ますます不眠にこだわりの悪い結果になります。

これは精神面の原因を取り除くのが先決ですが、理由がわかっているながら、どうにもならないことが多いのです。

せめて、寝るとききらい、心がなごやかになるように、自分でその状態をつくる努力をしてみましよう。

お風呂に入って気分をさわやかにすること、静かなレコードを聞くこと、軽い本を読むこと、少量のお酒を飲むことなど、昼間に適度な運動をして快い体の疲れをもつことも効果があります。

桜の開花とともにスタート

「鹿野川花まつり」五月一日まで

桜の開花とともにスタートした鹿野川花まつりは、初日四月三日の午前中に花まつり式典と中野小学校児童の鼓笛パレードを行いました。

午後は、鹿野川園地内に新しくできた野外ステージで、愛媛県民俗文化財に指定されている鎮縄神楽の公演とモチまきが行われ、およそ二〇〇人の人出でにぎわいました。

鹿野川ダム周辺の七、〇〇〇本の桜は、四月五日頃が満開となり、また、丸山公園のシャクナゲ三、〇〇〇本も一五日頃が盛りとなり、訪ずれた人達を目を楽しませました。

今月下旬からは、丸山公園と鹿野川園地のおよそ一三、〇〇〇



野外ステージで行われた鎮縄神楽の公演



中野小児童による鼓笛パレード

〇本のツツジが咲き始めます。特に丸山公園のツツジは、樹令六〇年あまりの古木が多数あり、一斉に咲き誇る姿は圧巻です。

花まつり期間中は、次の行事が予定されておりますので、御家族おそろいでお出かけください。

四月二十九日

川柳大会 公民館

花まつり素人演芸大会 鹿野川園地

お茶会(野点) 丸山公園

五月三日 子どものど自慢大会 鹿野川園地

五月五日

楽団演奏

鹿野川園地

「海洋温度差発電」

窓の外は、雪もよいの寒風。室内は、ほかほか暖房が……という環境で一服している時、ふとこんなことを夢想された人はいないでしょうか。

例えば、水の上下の落差、高気圧と低気圧の空気の密度の差など、二つの「差」

期待されるエネルギー開発

その自体がエネルギーを生むのならば、この戸外と室内の「温度差」からも、エネルギーを引き出せないものか?と。

実は一九世紀の末にそれを考え、海に着目して、実験的に成果をあげたフランスの学者がいるのです。

太陽で暖められた海の表面

の水温に比べ、水深五、六百メートルぐらゐの深海の水温は二〇〜三〇度も低いので、その差を利用しようというわけです。

原理は至って簡単。まず、海面の暖水で、アンモニアとかフロンなど低い温度で沸騰、ガス化しやすい媒体を蒸発させ、その蒸気を噴射してタービンの羽

を回して発電する。ガスはパイプを通して深海から吸い上げた冷水で冷やして、元の液体に戻し、さらにもう一度暖水で蒸発させてタービンへ」という循環システムを設けるわけです。

海洋温度差発電(OTEC)と呼びますが、実験室内ではわ

が国です。すでに三年前に成功、また、米ハワイ州政府は昨年の夏、アメリカ、スウェーデンの企業と協同で海洋上での実用化テストに成功しています。

②

通産省のサンシャイン計画でも、工業技術院や電子技術総合研究所を中心に、より効率的に発電するため基礎研究が進められている一方、佐賀

大学などの学術機関、東京電力グループなどの企業も開発に熱を入れています。二〇〇〇年代に日本が必要とする電力需要の半分は、近海で軽くまかなえるとの試算もあり、魅力の大きいクリーン、エネルギーです。

脇川中体育館で

「泥かぶら」を公演

川上商工会青年部の主催で、五月二五日に新制作座の「泥かぶら」公演が行われます。

この作品は、清純な美しい人間の魂を香り高くえがいた感動の作品です。

ご家族おそろいで、ぜひご紹介ください。

川之江市立北中学校の石川真由美(13才)さんの、感想をご紹介します。

「この劇を見たとき、何かが強く私の胸をしめつけました。人間としての心の美しさ。人買

いさえも、泥かぶらの美しい心の温かさをわけてもらえたのです。泥かぶらは、きつとさびしい人、苦しい人の心の中へはいつていつて、さびしさを、苦しさを忘れさせてくれるでしょう。

泥かぶらは一生けんめいに明るくふるまい、人のことを自分のことのように思い、そして、いくつものくつじよくにたえぬき、身も心もあらう流された、美しい少女になることができたのだと思います。

私は泥かぶらの美しい心を学

幼稚園に

電話を新設

幼稚園園舎の新築に伴い、大谷小学校の電話番号が変更されました。

また、大谷幼稚園と正山幼稚園に新しく電話をとつけました。

- 大谷小学校 二六六一番
- 大谷幼稚園 二五六〇番
- 正山幼稚園 二六六二番

新年度から集合納税制度に

一二月定例町議会

肱川町三月定例町議会は、三月一二日開会され、会期七日間で、町長発議の議案三六件を原案どおり可決し、議長発議の用地対策特別委員会が設置されることになりました。

行政事務に対しての一般質問は、三人の議員が行い、主として町長がこれに答えました。

なお、開会日に、岩谷婦人会幹部の皆さんと町内有志の方の傍聴がありました。

町長の所信表明、一般質問、議決した主な案件の概要は、それぞれ次のとおりです。

町長の所信表明 明のあらまし

昭和五五年度を迎えるに当り、所信の一端を述べ、議会、各団体をはじめ、町民各位のご理解とご協力を得て、町政の推進をはかっていきたい。

大平総理大臣は、去る九一年国会の施政方針演説において、「自然と人間の調和」「文化生活の展開」「地域産業の振興」の三点を軸とする魅力ある村づくり、地方の時代の到来と言われているが、状勢まことに厳しい中で、八〇年代を迎えた感じがします。

特に農林業においては、農家所得の落込み、生産過剰の問題など、現実には困難に直面しています。これらに対応するため、私をはじめ職員一同職責を更に自覚し、決意を新たに取組んでいかねばと考えています。

当町の農林業の振興は、生産から販売に到る一貫した考え方で、その体系化をはかり、各段階の施策を立て、その認識の上で各機関の相互連携により推進すべきだと存じ、すでに各方面のご協力により、肱川町農業振興基本構想の策定に取組んでおります。この策定を終えて、目的を達成するための施策の具体化をはかっていきたい。

肱川の生産条件を考えると、基盤整備は基本的事項で、新農業構造改善事業も二年目に入り、一億円の事業費となりました。また土地改良、単車事業なども一億円、小規模の土地基盤整備費も三千万円を予定しています。将来計画としては、第三期山振、中山間地帯田畑再編事業などの指定を受けるべく、何分の準備を進めております。

林業面では、先に緊急特別対策事業によって椎茸作業場が完成し、椎茸販売は有利に展開す

るものと考えています。また新年度は、林業振興の長期展望に立って、森林組合が森林総合整備事業に取組むことになり、町としても、今後一層の協力をしたい。



次に、減反、生産過剰などの現状を見ると、新規作目への積極的なとりくみ、経営研究が必要である。指導機関との連携を深めなければならないが、私は先ず生産者の意欲が原点であると思つています。その意味で、普及所が行っている先導的農家育成事業、或いは各種事業における学習活動を重視していきたい。鶏が先か卵が先かの論

があるが、私は農林業の振興においては、鶏が先であると申してはばからない。いずれにしても、生産者の意欲を原点にしなければ、今後の困難な状況の打開はできないと信じています。

農林業の発展がはかれると、必然的に商業の発展につながる。根本的な対策として、男子雇用型企業の誘致に努力してきたが、力不足が実現できなかったことは残念です。今後は小企業の設立、地場産業育成のための方策なども考えていきたい。

観光施設の整備は、従来どおり進めていくが、昭和五五年全国高校総合体育大会の漕艇競技も、あと四カ月になりました。町を挙げて成功のため格別のご協力をお願いしたい次第です。すでに一千二百万円をかけ艇庫も新設され、ボートも配備になっているので、この機会に、鹿野川ダムを県営漕艇場に指定を受けるため、強力な運動をいたしたい。

道路の整備は、生活、生産、観光の上からも重要課題であるが、国県の道路予算が圧縮されている状況で、多くの期待がもてません。しかし、一層の改良促進がはかれるよう努力してまいります。

大駄場から惣川天神へ通じる過疎林道は、四工区で二億円の事業費が見込まれ、順調に進むものと喜んでいきます。

県代りの町道小藪線改良工事

は、計画を上廻る九千九百万円の子算見通しとなり、温泉までの工事は完了するものと思つています。また八月には五五総体があるので、それまでに荒工事を終えるよう、県へ強く要望しています。

町道、農林道の新設改良は、一四線、五、八一五、一億七千四百八〇万円の事業費。舗装は、三四線、一六、六四四、二億六千六百六〇万円の予算でもって、順次整備をはかっていきます。

町道は、二二一キロ以上に及ぶ総延長となったが、道路整備員、グレーター、そして町民の愛護奉仕をいただいて、維持管理を進めたいと存じます。

飲料水は、日常生活に欠かすことができないものなので、これを重視し現在全町給水計画を樹立中であり、明年度は、約一億円の工費で名荷谷簡易水道事業を実施します。

地方改善事業は、特別措置法の期限も二年を残すのみとなつて、更にこれを推進して、関係地域の生活環境改善向上に努める所存です。

そして長く懸案であった共同墓地も、見通しが立ってきたので、関係者と相諮り順次とり進めていきたい。

美しい肱川の自然は、われわれの誇りであつて、当町の地籍を明確にする国土調査事業も、一〇有年間に亘る大事業であつたが、本年度をもって完了しました。五月には完了式典を催し

たいと思っているが、この間の町民各位のご協力に対し、喪心より感謝をいたす次第です。

次に、生活基盤が整備され、生産が振興し、豊かで快適な生活ができることを念願し、努力しているところであるが、保健福祉などのことは、直接私たちの幸せに係るものである。新たに身障者協会を設立して、各種の対策により、在宅福祉、地域福祉活動の強化をはかり、愛情といたわりの気持の交流のある肱川としていきたい。

健康なくしての肱川はありません。「肱川の健康」の状態は、医療費の額によっても判断できるかと思うが、医療費の異状が増大によって、国民健康保険特別会計も窮迫を告げています。自分の健康を自分で守るための教育、実践活動の組織化をはかり、疾病発生の予防に努めたいと考えています。新年度は止むなく国保税の引上げを実施せざるを得ないが、そのような活動によって、健康が守られて、少しでも医療費の軽減につながればと期待をしています。

また、町民税、固定資産税、国民健康保険税の三税について、納税者の利便を考慮して、明年度から、集合納税制度を採用入れることにしました。

教育関係については、本当の明るく豊かな生活とは、教養性のあるあふれるものでなければなりません。従来から教育優先の施策を行っているが、次年度も引続

いて、幼児教育施設整備を進めます。社会教育面では、永年の懸案であった文化財資料館を、土地の経費を入れると一億円の事業費になるが、今後多目的に利用できることを考え、建設すべく計画を進めています。

また、定時制高校肱川分校も環境のよい高砂へ移転新築運動を展開して、関係方面へ働きかけていきます。

以上、来年度の主要施策や将来の構想について申し述べたが、ご承知のとおり、国は財政再建元年を標榜し、借金体質の改善を課題として、緊縮予算編成をしています。要するに新しい感覚に立ち、既成の財政の考えを捨てて、いろいろと考え方の転換を求めています。当町においても財政体質を充分検討して、国の財政方針が具体的にどのような影響で現われてくるかを見定め対応は適切に行っていく。

一般質問の あらまし

○町職員の採用時期について
問 各学校においては、例年九月頃より就職の選考が行われ

ており、大体年末には就職先も決まっているようである。現在の過疎化の中では、少しでも優秀な後継者を残すためにも、町職員採用試験の時期を早めて、一二月までに実施してはどうか。

答 意見に同感である。今回は特殊な事情があつて退職者が出たため、理想とする時期に採用試験が行えなかつた。これからの採用は一二月より早くするようにしたい。



町民の足となっている国鉄バス

○バス路線の確保について
問 前の議会でも問題の提起をしたが、その後国鉄バス関係者からも話があつた。最近宇和島から高知へ通じる国鉄宇土線が廃止になる恐れがあるので、沿線の関係住民が総がかりになって、乗車運動を進めて、役

場職員、青年団などが先頭になって、回数券を買い利用していると聞いている。また、河辺村では、スクールバスに乗るのを止め、鹿野川駅で大量の回数券を買いバスを利用している。村長も高松へ行き陳情をした。当町でも、住民の参加を求めバスの確保について運動を起すべきと思う、町長は検討すると言われたいたが、その後の経過と対応はどうしているのか。

答 庁内でもいろいろと検討してきたが、画一的に実施することは難しい。しかし、このままの状態ではバス便が減便になる情勢にあるので、積極的にバス利用をするよう住民に呼びかけはしていく。町職員に対しては、住民の一員として、この運動に応じ協力を求める。



水量の少ない河辺川(上鹿野川)

○国民健康保険税の課税の見直しについて
問 国保税の算定に当って、固定資産税の課税按分の関係で、不公平が生じてはいないか。松山市ではこれを除いて計算しているとも聞いたが、当町ではどうなっているのか。

○河辺川の水確保対策について
問 河辺川の汚水のこととは度々言っている。私は四国電力が水を取ったから、死の川になったと思つている。夏季は悪臭悪濁そして濁水となって大変である。前町長時代から四国電力との話は、明るい見通しはない。そこで濁水期に下流の水を上流へ揚水して、これを流せば或る程度解決すると考える。その施設を町が行い、経費は四国電力に負担させればよい。この交渉をされるつもりはないか。

答 国保税は、所得割、資産割、世帯割、被保険者割によつて算定している。国の按分基準は、所得割三五、資産割一五、世帯割一五、被保険者割三五であるが、当町では昭和五一年度から、資産割を一〇に引き下げていて国の標準よりも低くして

答 この川のこと懸案にしてはいるが、なかなか抜本的対策を見出すことができない。提言のあつたように水を上流へ揚げ、

いるので、このあたりが妥当なものと思つている。

これを流しても川としての機能が果せるものが、いずれにしても容易なことではない。また、その経費を四国電力の負担と言ふことも相手のある話で難かしいと思ふ。意見を聴かして貰つたことまで了解されたい。

○ 農林業団体の共通役員制について

問 公民館が一〇数年前に、肱川町における農協はいかにあるべきかの論文を募集したとき、論文を出したがその中で、当町の農林業を考へるとき、農協と森林組合は合併すべきと提言をしたことがある。その時それぞれの組合があつて合併はできないとの意見を聞いた。合併がいけないとすれば共通役員制をと思つたが、現在農業委員会、この共通役員制のことが研究されているのか。また、このことについて行政的立場ではどう考へておられるのか。

答 農業委員会では、論議されたり研究したりしたことはない。最近他からそのような話を聞いているが、法的なこと、組合運営上の大きな問題でもあるので、それぞれの組合において研究されることであつて、行政が先走つて申すつもりはない。

問 農協、森林両組合の組合員は一つで、頭が二つあるのは矛盾している。法律的な面は先程も話があつて分かるが、組合

問 ○ 地場産業の育成について
国の農政の誤りもあり、兼



大野水産建設子定地(萩野尾)

員のための組合運営を考へるとき、運用面で解決できるのではない。町長は、先に立つてやる必要はない意味のことを言われたが、高い次元に立つて、両組合を指導される姿勢と、町政懇談会などで忌憚なく話し合われることを期待する。

答 このことは、組合運営の大きな問題であり、両組合において、何が支障になるのか、どのようなメリットがあるのか、十分に研究されるのが本筋であつて、町方からあれこれ勝手なことは言えない。しかし、両組合で検討の結果、その方向へ進む意向であれば、行政として必要な役割りがあれば、対応していくようにしたい。

業農家は次第に増大している。町長は、男性雇用型企業誘致に努力されたが実現しない。仕事をふやす町政もなかなか難かしい。幸い今度大野水産加工場が操業するが、大野水産以外の者が、何人かを使う事業を起す者場合でも、町は敷地造成をするのかと関心をもつている町民もいる。今後は、町外からの企業誘致ができなければ、町内で事業を起すことを考へ、条例、規程も作つて基本方針を明確にして、積極的に地場産業育成の姿勢を示されたい。

答 意見には同感である。企業誘致、地場産業の育成には常に努力しているし、現在先進地の実情を研究したり、各方面の資料を取り寄せて検討をしている。なるべく早く結論を出して、改めて協議をすることにす

○ 住宅の確保について

問 住宅関係は、土地の問題もあつてなかなか難かしい。住宅を借りたい希望者も多いので、取敢えずの方法として、県営発電所の職員住宅が空いているが、これを町が借受け、県職員の人達に入居して貰うと、一方の住宅に余裕ができるから何とかなると思ふ。県と交渉して是非実現するよう配慮されたい。

答 住宅に關しては、大きな課題として取組んでいる。県営発電所の住宅は、過去においても特殊な場合には、町が借受け利

用したこともある。県の考へは個人には貸さない方針である。しかしながら、有効に利用する主旨で、何らかの方策はないものか、県と接触をしてみた



発電所職員住宅

○ 生活道のないところへの道路対策について

問 昨年九月定例議会でも質問したとおり、町内に生活道のない家が相当ある。道路もないのでは後継者作りもできない。また町外へ出ている後継者も帰つてこない。このような話をよく耳にしている。ついては、ブルドーザーによる道路開設事業には、町が半額助成をしてはどうか。また、生活道のない家はどのくらいあるのか。

答 昨年一二月現在で、町内に生活道のない家が約九〇戸あ

る。実情を調べた結果、道路用地に問題があつて未開設になつている。町の補助規程を適用して応援をしていくが、公道と私道は明確にして、個人道的なものには助成はしない。今後の啓発に關しては議員各位の協力に期待をすものと、相談があればできる限りの対応はしていく。

○ 社会教育について

問 前町長は、物の開発をするならば、先ず心の開発をすべきだと、よく言われていた。その意味で社会教育を重視され、早く立派な公民館の建設、公民館活動も充実しており、関係者に敬意を表したい。ところで、昭和三九年四月に現町長が公民館長に就任当時、一〇項目の新生活運動が提起され、推進されて一五年余りを経た今日、改めて見直しをする点がありわしいか。例えば香典返しや、祭りの他人付合ひのことなどである。私は、人と人とのふれ合ひには、祭りの適度な交際は必要と思つている。

次に、ある分館の役員の話では、最近本館の事業や事務が多くなり、また趣味グループ活動が盛んなため、分館の新しい活動がやりにくくなつてきていることであるが、公民館長はどのような指導をしているのか。

答 公民館の新生活運動一〇項目は、私が館長時代に作つたもので、当時はそれなりの役割りを果たしたと思つている。しかし

ながら、生活運動はその時代の生活課題をとらえて取り組むもので、現在は現在在りの課題があつて、研究や実践がなされてゐるので、関係機関がそれなりに対応していることもあり、ここで私見を述べるのは差し控える。

答(公民館長) 公民館の新生活運動は、昭和四〇年六月一八日付の館報に、一〇の目標を挙げて載せている。当時はそれなりの効果があつたものと承知をしている。その後昭和四八年に「大切に」運動が起り、これに伴つて公民館の目標も見直して、昭和四九年に脈川町生活運動目標一〇項目が設定されたが、「大切に」運動目標と重複する内容もあつて、これを前面に押し出さないまゝ今日にいたつたのが実情である。しか



給食風景(正山小)

し、この間においても社会情勢に対応すべく、研究討議は行つてゐる。

○学校給食について

問 戦後食糧事情の悪いとき、子供の体位向上を考え粉ミルクを飲ませたのが、学校給食の始まりだった。その後国のご都合によつて給食の方針も順次変わつてきているように思う。今の時代は食糧も豊富で、直ちに給食を廃止せよとは言われないが、せめて週に何回かは、親の作った弁当を持参させてはどうか。親の愛情が子供に通じる給食に、教育的見地から見直しの時期がきているのではないか。

答(教育長) 食糧は確かに豊かになつたが、家庭での食事のバランスは完全とは言えない。子供の正しい体位向上に給食は役立つと思つてゐる。また以前と違つて給食の狙いが變つてきているのも事実である。手作りの弁当もつてゐる。手作りの評価もしてゐる。中学校では土曜日はクラブ活動もあるので、弁当を持参するよう言つてゐるのに実際には実行がでない。そういうことで弁当持参が一部になつたのでは、むしろ教育上から問題がでてくる。全部の父兄が理解をし、協力を得るのであれば、充分検討することにした。

○学校給食への豚肉使用について



傍聴する岩谷婦人会のみなさん

問 毎月発行の学校給食献立表を見ると、牛肉は回数・量も多くなり使用しているのに、豚肉や鶏肉は月に一回程度になつてゐる。先日五十崎町の給食の状況を聞いたが、豚肉や鶏肉は牛肉より安く入荷するので、相当量使用しているようである。豚肉を食べさせずと子供の栄養上に問題があるのか、最近生産増大で安くなつてゐる豚肉の使用をもっと増やすようにしてはどうか。

答(教育長) 指摘のとおり学校給食では豚肉は余り使用していない。鶏肉はかなり使つてゐる。給食の献立は、栄養士会で常時検討し、学校給食の基準に合うようにしてゐる。豚肉は脂肪が集まりやすい難点があつて、牛肉や鶏肉主体の調理になつてゐるのが実情である。しか

し、食事の多様化は好ましいし、折角の提言でもあるので、栄養士会で検討する。なお牛肉は学校給食の助成もあつて、割安で購入している。

議決した議案のあらまし

○国土利用計画(脈川町計画)の策定
法律に基づき、脈川町の国土利用に關して必要な事項を定める計画です。

○町税の徴収等の特例に關する条例の制定
納税の促進と事務の合理化をはかるため、町民税、固定資産税、国民健康保険税の三税を集合納税制度にしました。これから毎年六月から三月まで、一〇回に分けて納税することになります。以前から住民より要望の強かつた制度です。

○報酬及び費用弁償などの条例改正
特別職並びに議会議員の報酬を、四月一日より引き上げることになりました。しかし郡内では最低の額になつてゐます。

町長	月額	四一万円
助役	"	三五万五千元
収入役	"	三三万円
教育長	"	三二万円
議長	"	一一万五千元
副議長	"	九万一千円
議員	"	七万八千元

この外、教育委員会、農業委員会、民生委員会、選挙管理委員会の委員、監査委員、公民館関係役員、消防団員、その他役職員の報酬、手当についても、それぞれ引き上げられました。

○幼稚園授業料条例の改正
月額一千五百円であつたが、四月から月額二千円になります。

○学校給食料条例の改正
学校給食料の改正で、現在一食当り、中学生一六〇円を一七〇円に、小学生一五〇円を一六〇円とし、月額概算は、中学生二、六〇〇円を二、八〇〇円に、小学生二、四〇〇円を二、六〇〇円に、四月一日より改めることになりました。

○町道等の認定
町道、新規一七路線を認定、三路線を變更。
農道、新規一七路線を認定、三路線を變更。
林道、新規一七路線を認定、三路線を變更。

○用地対策特別委員会の設置
公用地などの確保対策と、町民の福利増進に寄与する方策を講じ、それらの推進をはかるため、四月一日より町議会に特別委員会を置くことになりました。なお、委員には次の六氏が就任されます。
中野、山内、神井、岩田、西宮、山本議員。

救急車は一九番 正しく利用しましょう

救急車は、住民のだれでも利用することができ、それが思いがけないけが人や急病人が発生して、すぐに応急手当を加え病院での治療を必要とする次のような場合に限ります。

- 火災、水害、地震などの災害による事故
- 交通事故、建築現場など屋外での事故
- みんなの出入りする場所での事故
- 屋内でのガス中毒、けが、急病などで緊急のとき
- 住民みんなの救急車です。

肝心のときに役立つよう良識ある使い方をしましょう。

また救急車を呼ぶとき、呼んだときは次の事を心がけましょう。

- ダイヤル①⑨番で場所はくわしく、目標をはっきりと状況は具体的に知らせましょう。

- 救急車のサイレンが聞こえたら誘導を、また救急隊のじやまになる行動はつつしみます。

いざというときに救急車が出ていたら、
大洲・内山消防の救急車が応援に駆けつけます。



重度身体障害者に「青い鳥葉書」を配布

身体障害者福祉強調運動になみ郵政省では、四月二二日から「青い鳥葉書(二〇〇円)」を発行します。

この葉書は、料額面に青い鳥が配されていて、一般に売りさばくほか重度身体障害者(一級又は二級)には二〇枚を無償で配布することになっています。該当の方は次の要領によりお近くの郵便局へお申し出下さい。

- 一 配布の対象者
重度の身体障害者(一級又は二級)で、三月三十一日現在満六才以上の方
- 二 申し出期間
四月一日から五月三十一日まで申し出のあった方に、一人につき二〇枚配布されます。
- 三 申し出の方法
お近くの郵便局へ身体障害者手帳を提示し、所定の用紙

に必要事項を記入して申し出て下さい。(代人による申し出もできます)

用紙は、郵便局、福祉事務所等の窓口にならえてあります。

なお、郵便による申し出もできますが、この場合は、所定の用紙に手帳番号、級別、住所又は居所、氏名及び生年月日を記入し、押印の上お近くの郵便局へお送りください。

- 四 詳しいことは郵便局でおたずねください。

人の動き

人口	4,035人	(-46)
男	2,001人	(-23)
女	2,034人	(-23)
世帯数	1,096世帯	(-8)
3月中異動	(出生3,死亡3,転入17)	(転出63,その他0)
	(昭和55.3.31現在)	

道路の異常は道路モニターへ

愛媛県では、道路管理行政の適正かつ効率的な運用と安全な道路交通を確保するため、道路モニター制度を昭和五二年度から

行政相談

とき 五月六日
九時～一六時
ところ 肱川町公民館
担当 行政相談員
福田 保

◇心配ごと相談◇ “お気軽に相談所へ”

◎相談時間
各相談日も 9時～16時

◎相談場所
町公民館心配ごと相談室
(肱川町社会福祉協議会)

相談日	担当相談員
4月25日	都谷、藏田
5月6日	戒野、森本、福田
5月15日	坂本、兵頭
5月26日	下石、楠野

相談員の自宅相談も受けま

○乳児健康相談

とき 五月一、二日
一三時～一五時
ところ 肱川町公民館
担当 保健所保健婦
町保健指導員

訂正

● 肱川公園線(粟太郎予子林) 沖永重信(☎二〇五七) 金野 翌(☎二四〇九)

三月号の「タバコは公害」の記事中「致死量は三〇ミリ㇀」は「致死量六〇ミリ㇀」の誤りでした。同じく三月号の「お誕生おめでとう」の記事中、「中居谷 椿野洋介さん 長男保ちゃん」は、「椿野利光さん 長男洋介ちゃん」の誤りでした。

お詫びして訂正いたします。

お誕生おめでとう

中 野 會根和儀さん
二女 和美ちゃん
上鹿野川 富永勝利さん
長男 敬三ちゃん
嘉 城 中岡 明さん
長男 洋ちゃん

ごめいふくをお祈りいたします

小 藪 壹野喜市さん (86才)
大 和 池田 進さん (71才)
広 常 西谷貞美さん (91才)